※令和３年度以前入学生用

学校番号	1208

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　新現代社会（第一出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の社会について考察し、国際社会とは何かを考える力を培う。
・現代社会の問題について、多角的にから、考察できるようにさせる。
・現代において起きる多様な事象に興味・関心を持ち、当事者としての意識をもたせる。

２　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野をもって、現代の社会と人間とのかかわりへの理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察・判断して、人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的な社会の実現に向けて参加、する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	・資源・エネルギー問題と私たちの生活	・限りある資源 ・資源問題の解決をめざして	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:エネルギー政策の見直しとともに新エネルギーの現状について理解し、省エネルギーと循環型社会について関心を持つことが出来る。 b:資源の有限性について理解を深め、原子力発電の問題を例に、資源・エネルギー問題について多角的に考察することが出来る。 c:教科書の図などを利用し、環境問題についての現状を把握することが出来る。 d:環境問題や資源問題の変遷を把握し、現在の取り組みについて理解出来る。	授業プリント 定期考査
	・科学技術の発達と私たちの生命	・科学技術の発達と生命 ・生命倫理をめぐる問題		○ ○		○ ○	b:医療の発達により、人類がはじめて直面する問題が生じていることを、具体的事例をあげて表現する。 d:科学技術の発達が社会や生活をどのように変化させてきたか理解する。	授業プリント 定期考査
	・高度情報社会と私たちの生活	・情報の高度化の進展 ・高度情報社会の課題	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:なぜ高度情報社会が成り立ったのかを考察できる。 b:高度情報社会とは何かについて理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について理解する。 c:教科書の図や資料を基に、情報化によって発生する問題について整理できる。 d:今後の情報社会のあり方を考察し、表現できる。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	・青年期と自己の形成	・青年期とは ・青年期を充実させるために	○ ○	○ ○		○ ○	a:青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか理解する。 b:人生の中で青年期はどのような意味を持つのか考察する。 d:一人の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。	授業プリント 定期考査
	・個人の尊重と法の支配	・個人と国家 ・法の支配 ・基本的人権の保障 ・世界の政治体制″	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解できる。 b:世界各国と日本との違いを考察し、自分の考えを発表できる。 c:世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って考察できる。 d:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期	・現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障 ・基本的人権と公共の福祉 ・国会の運営と権限 ・選挙制度の現状と課題	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○	a:日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 a:平和主義をめぐって、どのような動きがあったのかを理解する。 a:議会制民主主義とはどのようなものか、国権の最高機関である国会について理解する。 b:社会権が私たちの生活をどのように変えたかを考察する。 c:地方自治の意味と地方自治の発展のための課題について当事者意識をもって具体的に考察し、発表する。 d:身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 d:国会議員の選挙制度はどのようなしくみか、また、どのような課題があるのかを理解する。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	・現代の経済社会と私たちの生活	・経済と私たちの生活 ・景気変動と物価の動き ・財政のしくみと税金 ・日本の財政の課題 ・雇用と労働問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	a:私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的なしくみを理解し、資本主義経済と社会主義経済の特徴や違いを理解する。 a:政府はどのような経済的役割をもっているかを理解する。 a:金融機関の果たしている役割、中央銀行の金融政策について理解する。 b:雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 c:市場の基本である「需要と供給との関係」について、図を使い、説明できるようにする。 c:企業の活動内容・企業の負っている社会的責任について理解し、株式会社の特徴についてまとめる。 d:日本の社会保障制度の特徴、少子高齢社会について、今後の課題を考察し、理解する。	授業プリント 定期考査
３学期	・国際経済の動向と日本の役割	・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・国際経済の動向 ・進む地域的経済統合 ・発展途上国の経済と南北問題 〃	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する。 b:国際経済機構や地域経済統合にはどのようなものがあるか考察し、発表する。 c:南北問題の原因、発展途上国のかかえている問題について図などを用い、理解し、南北問題解決のために日本は何をすべきか考える。 d:自由貿易推進のために国際的な協調体制がとられてきた経緯を理解し、国際収支の変化、為替相場の変動が経済に及ぼす影響について理解する。	授業プリント 定期考査〃

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※令和３年度以前入学生用

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。